

宮城県内で発生した食中毒事例

事例1 ドクゼリ(平成4年4月)

青葉区作並の山中に山菜採りに入った市民が、**ドクゼリをわさびと間違え**、約200本採取し、その後、職場に持ち寄り「わさび醤油」として食べたところ、36名中33名が約2時間後に、めまい・吐き気・意識障害に襲われました。うち4名が呼吸停止など重篤な症状を呈しましたが、治療の結果、幸い命は取り留めました。患者はいずれもドクゼリをふたつまみほどしか食べていました。



ドクゼリ



ドクゼリの根茎

事例2 譲り受けた有毒植物(平成28年4月)

知人から「オオバギボウシ(地方名:ウルイ)」であると譲り受けた野草を自宅で調理して食べたことによる食中毒が発生しました。その後、**食用の「ウルイ」ではなく、猛毒の「バイケイソウ」**であることが判明しました。



実際の写真

事例3 自宅敷地内で採取した有毒植物(平成28年5月)

自宅敷地内に生えていた**猛毒の「イヌサフラン」**を**食用の「ギョウジャニンニク」と誤認**し食べたことによる食中毒が発生し死者がでました。



(左) イヌサフラン(毒)



(右) ギョウジャニンニク(食)

有毒植物による食中毒発生状況(全国)

有毒植物	発生件数(件)	患者数(名) (うち死者数)
スイセン	57	195(1)
ジャガイモ	21	327
チョウセンアサガオ	15	41
バイケイソウ	15	33
イヌサフラン	15	22(10)
クワズイモ	15	30
トリカブト	9	17(3)
合計(上記以外含む)	190	793(14)

(平成22年~令和元年)

まちがえやすい有毒植物

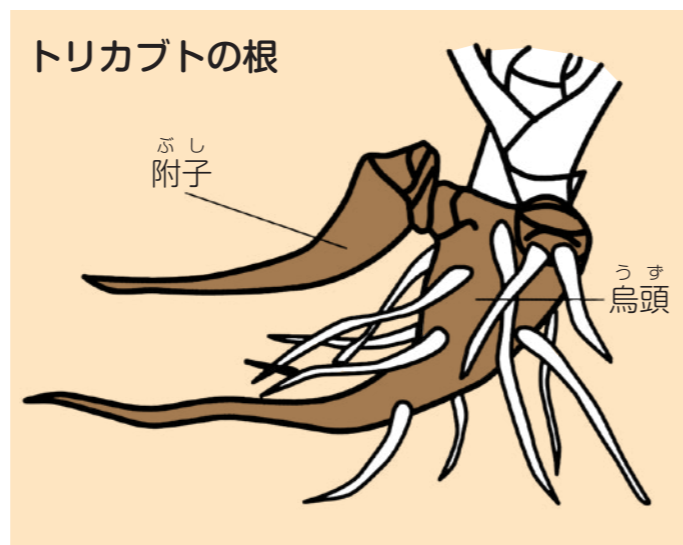
1. トリカブト(毒) と ニリンソウ(食) 及び モミジガサ(シドケ)(食)



トリカブト(猛毒)



ニリンソウ(食)



2. バイケイソウ(毒) と オオバギボウシ(ウルイ)(食)



バイケイソウ(猛毒)



オオバギボウシ(ウルイ)(食)

見分け方

1. トリカブト(毒)とニリンソウ(食)とモミジガサ(食)

種類 形態	トリカブト (猛毒)	ニリンソウ (食)	モミジガサ (シドケ)(食)
根	烏頭と附子を持つ倒卵形の塊根	黒い棒状	白いひげ根
茎	充実	中空	中空
葉	3~5葉深裂	3~5葉深裂	モミジ状深裂 厚く柔らかい
花	8~11月 紫色 カブト状	3~5月 白色 2本の花茎	8~9月 白色 頭花

見分け方のポイント

<p>紫色の花</p>	<p>葉だけでは見分けにくいので、ニリンソウを採取するときは、花の咲いているものだけを摘む。混生する場合もあるので、1本ずつ摘む。</p>
<p>白色の花</p>	<p>トリカブトより葉が深裂</p>

2. バイケイソウ(毒)とオオバギボウシ(食)

種類 形態	バイケイソウ (猛毒)	オオバギボウシ(ウルイ) (食)
根	短い	横に這う
茎	管状 中空	花茎(7月)
葉	互生 葉面に縦ひだ(平行脈) 葉柄なし	根生一束 裏面に葉脈(主脈から側脈がでる) 葉柄あり
花	円錐様の複総状花序	ロート状

見分け方のポイント

<p>平行脈</p>	<p>主脈から側脈がでる</p> <p>側脈</p> <p>主脈</p>
------------	--------------------------------------

その他の特長として、バイケイソウの葉は茎から出ているのに対し、オオバギボウシの葉は根元から出ている。また、若芽の形態が、バイケイソウはロケット状、オオバギボウシは紙巻き状である。